



【 アッツ桜 】

春を待ちわびる季節になると、園芸店の店先が一気に賑やかになってきます。その中にアッツザクラをよく見かけます。自然開花は4月ごろからになりますが、2月ごろから鉢物が出始めます。

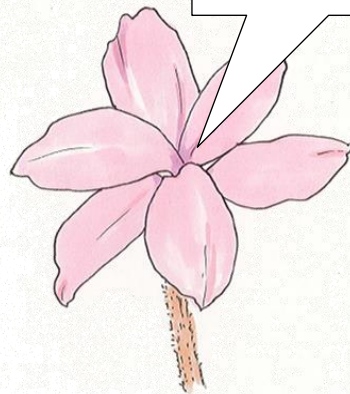
学名はロードヒポキシス(*Rhodohypoxis*)、南アフリカ原産でキンバイザサ科の春植え小球根植物になります。球根は1~1.5 cmの球茎で、春に6~8 cmの白い毛に覆われた細長い剣状の葉を出し、4月から6月にかけて葉の間から花芽を出し、ピンクや赤、白などの花をつけます。花径は2~3 cmで花被片は6個、3個ずつが2段になっています。面白いことに花被片が曲がっていて下の方で中心に集まり、見えるはずの雄しべや雌しべを隠してしまっています。そっと花被片を開くと雄しべや雌しべを見ることができます。日本には大正時代に伝わり、園芸品種がいろいろ作られていますが、多いのはピンク色のものになります。球根の販売は少ないので、希望する色の鉢があればその時に購入するのがお勧めです。

地植えよりも鉢栽培が向いています。1~2月に休眠が終わるので、2~3月に植え付けや植え替えをします。用土は赤玉土(小粒)6に腐葉土やピートモスを4ぐらいで元肥を混ぜます。花後に新球が上へ上へとできるために、浅く植えるとすぐに球根が地面の上に出てしまうので球根の上に土が2 cmかぶるように植えます。冬にしっかり寒さに当たった球根は温度の上昇と共に発芽してきます。大変に日光を好むのでしっかり日に当てて徒長しないように育てます。多湿では根腐れしやすいですが、根が細いのでひどく乾かすと生育が悪くなるので注意します。一つの球根で次々と3~7個の花がつくので、花ガラをこまめに摘むと長い間花を楽しむことができます。葉色が悪いようなら液体肥料を上げてください。花が終わるところから真夏は日焼けしやすいので、半日陰に移して乾いたら水を与えます。新しい球根は葉が枯れるころまで増えて肥大し、晩秋には葉が枯れて休眠に入ります。開花のためには低温が必要で、冬に15℃以上の所に置くと開花しません。外に置きますが、凍ると球根が腐りやすいので軒下などに置いて乾かし気味にします。球根が増えて鉢が球根でいっぱいになった時は2~3月に株分けします。細かく分けずに3~5球のかたまりに分けて植えると開花の時、華やかになります。

小型の球根植物ですが育てやすく、かわいいので挑戦してみてください。

(文・写真 奥井 里実相談員)

花被片が集まって中
が見えない



2月の花とみどりの講習会

【押し花と共に思い出を飾ろう】

日時：2月15日（土）10時～12時

場所：花とみどりの相談所

内容：押し花を作り、持参した写真を
装飾します。

講師：豊中緑化リーダー会

費用：600円

定員：24人

申込：2月8日（土）9：15～ 電話可



写真はイメージです

【クリスマスローズの育て方と苗の植え付け】

日時：2月22日（土）10時～12時

場所：花とみどりの相談所

内容：苗の植え付けをして、管理栽培方法を学びます

講師：坂本賀津子さん（尼崎市都市緑化植物園相談員）

費用：800円

定員：24人

申込：2月17日（土）9：15～ 電話可



講習会の様子



当相談所にはソシンロウ
バイ、梅の木が数本あり
ます。

毎年良い香りを放って、
順番に咲いてきます。
花の香りに誘われて野
鳥も遊びに訪れ賑やかに
なります。

是非、花と香りを楽しみに
お越しください。

ソシンロウバイ



花とみどりの相談



相談時間は、火曜日・木曜日の午後1時から4時30分までです。
電話による相談も行っています。

《 2月の休所日 》 毎週の日曜・月曜日と11日(火)25日(火)です。

豊中市 花とみどりの相談所

〒561-0804 豊中市曽根南町1丁目4番1号（豊島公園内） 阪急宝塚線 曽根駅南 徒歩5分

TEL 06-6863-8439

FAX 06-6863-3638